



生活消費  
ニュース

消費者問題に関する2013年の  
10大項目が発表されました

■ 住民保険課 ☎ 34・2087

国民生活センターでは、毎年、消費者問題として社会的注目を集めたものや消費生活相談が多く寄せられたものなどから、その年の「消費者問題に関する10大項目」を選定し、公表しています。

2013年は、高齢者の消費者トラブルがさらに増加したことや、ホテルなどのメニュー表示が大きな問題になったことなどが挙げられました。

2013年の10大項目

● 高齢消費者トラブルが6年連続で増加

被害に遭った人で65歳以上の人の相談は、全体の3割を占めました。

● 「健康食品の送りつけ商法」が激増  
前年の約10倍になりました。

● 依然として多い投資トラブル  
劇場型勧誘（買え買え詐欺）が広がっています。

● ホテルや百貨店でのメニュー表示問題が相次ぐ

● 薬品化粧品による白斑トラブルが発生

● トラブルの国際化  
海外インターネット通販が急増しています。これからは東京オリンピック

に関連した詐欺的トラブルなどに注意が必要です。

● ネットサイト関連の相談が上位を占める

アダルトサイトへのアクセスによるトラブルは、老若男女を問わず相談があります。「オンラインゲーム」での

トラブルが増加しています。

● 「偽装質屋」が登場  
サラ金の相談は6年連続で減少しました。

● 進む消費者関連法の整備  
「食品表示法」が成立・公布され「財産的被害の集団的な回復のための民事の裁判手続きの特例に関する法律」が

12月に成立しました。「地域体制の在り方」の検討もスタートしています。

● 国民生活センターの在り方  
独立行政法人の新たな類型のひとつである「中期目標管理法人」が示されました。

消費者問題のトラブルは、町や県の消費生活相談窓口にご相談してください。

▼ 県消費生活センター

☎ 0742・26・0931

日時 月～金曜日

（祝日、年末年始を除く）

午前9時～午後4時30分

場所 奈良市登大路町10の1

消費生活相談

商品やサービスに関する相談

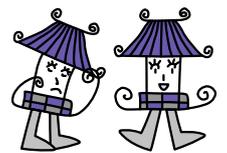
日時 毎週火・金曜日  
（祝日を除く）

午前10時～午後3時

場所 町役場1階103相談室  
（☎内線174）

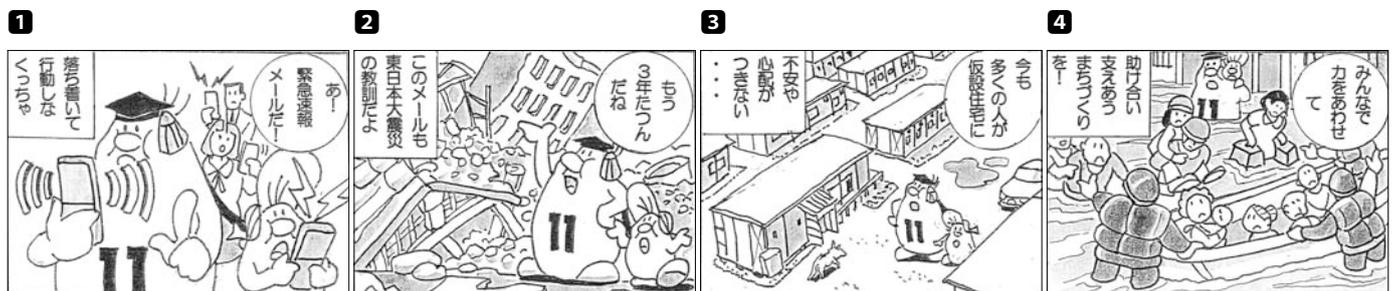
担当 消費生活専門相談員

相談方法 面談・電話



てんいち先生

※「てんいち」とは、てん（英語の10）と、いち（1）を合わせて11（毎月11日は人権を確かめあう日）という意味です。





子どもの成長を願って  
すこやか

## 家族の絆は楽しい家庭から

町青少年健全育成推進協議会事務局  
(生涯教育課内) ☎ 32-6193

町青少年健全育成推進協議会の家庭教育部研修会が12月3日に行われ、保護者と助言者120人が参加しました。

今年度は「家庭をより楽しくするために」をテーマに、子どもが過ごしやすい家庭づくりの実践交流をしました。話し合いは幼稚園・小学校・中学校の分科会に分かれ、助言者と交え熱心な意見交換が行われました。幼稚園分科会では「明るい家庭づくり」、小学校分科会は「上手なほめ方、しかり方」、中学校分科会は「親子の絆はどうつくるのか」のテーマで話し合いました。各分科会では次のようなさまざまな意見が出されました。

●幼稚園では親子のコミュニケーション

シヨンを大切にし、親自身が元気で子育てをすること。

●小学校ではしかることでよりほめることを大事にし、ささいなことでも喜んでほめる。しかる場合は感情的にならず、子どもが理解できるようにしかり方をする。

●中学校では子どもと過ごす時間が少なくなり、寂しく思っているが、時間を見つけて話すことを心掛けていく。また、難しい年頃だが、それも成長の証と前向きに考え、子育てを楽しんでいること。

どの年代にも共通することは、子育てにはマニュアルではなく、親が子どもにしっかりと寄り添い「あなたは大切な存在だよ」という気持ちを伝えることだと思います。

さて、今年度も「青少年健全育成の集い」が3月9日(日)午後1時30分から、青垣生涯学習センター弥生の里ホールで開催されます。5つの自治会が1年をかけて、地域で子どもとの絆づくりを進めてこられた実践報告をしてもらいます。皆さんの地域での子育てに役立てていただければ幸いです。

後半には田原本中学校吹奏楽部の演奏で、町内合唱グループと参加者全員で合唱します。ぜひ来場してください。

### すくすく子ども食育プラン

#### 簡単! バランス朝ごはん

##### 作り方

- 炊飯器にといだ米とほうじ茶を入れ、塩昆布と水気を切った大豆を加えて炊く。
- 炊き上がったら、水気をきったツナ缶を加え、混ぜ合わせる。

奈良県には、古くから東大寺二月堂のお水取りの行事食として茶がゆと共に茶飯が僧坊に食され、郷土料理として伝えられています。郷土料理は、地域の伝統的な行事と結びついたり、地域の旬の食材を使用したりして継承されてきた特色ある食文化です。

郷土料理を知ることで、地域で取れる食材に関する知識や郷土の歴史を知ることができ、地域への愛着が深まります。  
(本来の茶飯は米と炒った大豆をお茶で炊いたものですが、子どもにも食べやすいように塩昆布とツナ缶を加えています)



#### 茶飯風大豆ご飯

1人分エネルギー 246kcal

##### 材料 (4人分)

- ▶米.....2合
- ▶ほうじ茶(冷ましたもの).....400cc
- ▶大豆(ゆで).....80g
- ▶塩昆布.....大さじ2
- ▶ツナ缶(小).....1缶